

<< 6月議会での成田線関連Q & A >>



Q: 特別快速の我孫子駅停車実現について、その後の進捗はどうなっているのか?

A: 昨年11月に9万人を超える署名を添えて、「特別快速」の我孫子駅停車の実現を求めた際のJR東日本東京支社の回答は【今年3月のダイヤ改正での実現は難しい。しかし、次のダイヤ改正で反映できるように検討したい。】との回答だった。

市は次のダイヤ改正で「特別快速」の我孫子駅停車の実現に向けて成田線複線化促進期成会や千葉県知事が会長を務める千葉県JR複線化等促進期成同盟、常磐線対策部会・成田線対策部会などを通じて、引き続きJR東日本東京支社に強く働きかけていきたい。

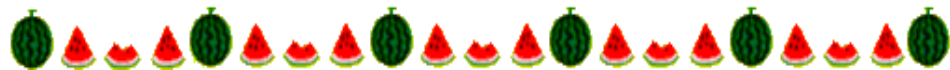
Q: 成田線増発のため4つの増発案に絞り込み、負担を含めた具体的な提案をしていくべきではないか?

A: その後の検討状況をJRに確認した所、「JR東日本としては、沿線自治体がまとめた報告書を重く受け止めている。しかし、利用者が減少している中では改善策を示すことが難しい状況にある。」との答弁だった。このため市は増発の実現に向け、期成会で案の絞り込みと沿線自治体の負担のあり方を検討し、負担を含めた具体的な提案をJR東日本にしていきたいと考えている。

事業費の負担については、JR東日本の判断が示されていないので仮定の話になるが、事業費の負担割合についてはJR東日本と期成会で検討していくことになると思う。従って、現時点では沿線自治体の負担額、その中で我孫子市の負担額がどのくらいになるかわからないが、市は成田線複線化整備基金として、平成18年度末現在で、9千9百万円を積み立ててある。条例改正が必要になるが、この基金を財源の一部に充てたいと考えている。

Q: 布佐駅を中心に券売機等の案内を含め鉄道利用者に対するサービス向上を図ってほしい。

A: 早朝、布佐駅で乗車券が購入できないことや構内エレベータが稼動していない理由は、午前0時30分～午前5時30分まではJR駅員の仮眠時間のためと答えをもらっている。サービス低下につながるよう強く申し入れを行った。



6月定例市議会 あびこ21メンバーの主な質問の骨子

- ・我孫子駅舎の改修
- ・聖仁会病院跡地の開発
- ・根戸新田の保全と活用（農産物直売所／農地の保全）
- ・谷津ミュージアム
- ・千葉柏道路（国道16号バイパス）

宏と語る小さな小さな
ティーパーティー開催中！
お気軽にお電話下さい。

行政相談もこちらへ！
ご意見をお待ちしています。

いんなみ ひろし
印南 宏
後援会事務局 7184-2860
自宅 7189-1598
我孫子市布佐平和台7-1-18
ブログ <http://hiroshi4649.at.webry.info/>
E-mail innami@mqd.biglobe.ne.jp

ほっと Communication

印南 宏後援会 会報
2007.6.22 No.34

集中豪雨

梅雨に入ったとはいえ、暑い日が続いています。皆さんおはようございます。今年は山岳地帯の積雪が少なく、その上6月に入っても少雨、今年の夏は例年にない水不足が心配されています。

6月10日の日曜日、我孫子市ではあやめ祭りや各種イベントが開かれていましたが、突然の雷とともにバケツをひっくり返したような豪雨に見舞われました。市の西部地区を中心に床上、床下浸水や土砂くずれなど多くの被害が発生しました。根戸近隣センターに設置された降雨計では時間あたり83.5ミリの降雨を記録し、豪雨のすさまじさを物語っています。この集中豪雨で被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

このような集中豪雨は4年前の平成15年8月と10月にも、それぞれ73ミリ、61ミリの降雨を記録しました。我孫子市の治水対策の基本としている基準（5年に一回の確率、43ミリ/時間）をはるかに上まわる降雨量となっています。異常気象、地球温暖化の影響か、昨今頻発する豪雨は、水に囲まれた低い土地の多い我孫子市にとって、大きな問題となっています。

6月定例市議会終了！

6月定例市議会は6月4日から20日まで、17日間開催されました。今回は議会改革の一環として試験的に会派の代表質問を取り止め、個人質問のみといたしました。その結果、質問した議員は17名を数え、近年にない多くの議員が登壇し、それぞれの街づくりについて質問と提言を行いました。

〈主な論点となった課題〉

- ①千葉柏道路（国道16号バイパス）の利根川沿いルート案
- ②聖仁会病院跡地開発問題の行方
- ③水害対策
- ④我孫子駅舎の改修
- ⑤成田線の利便化
- ⑥経済の活性化策 等



提出された議案は9議案で、総合計画審議会条例や情報公開条例の一部を改定する条例、根戸小学校の増築工事請負契約の締結（4億1千4百万円）、布佐北区域近隣センター建設工事＜本体＞の請負契約の締結（3億3千3百万円）、人事案件では代表監査委員の選任議案などが提出され、全議案が可決されました。

請願・陳情関係では平成20年から行われる※特定健康診断に向けた請願、谷津の自然環境保護推進のための施策及び谷津の景観を損なうような土地利用の規制を求める請願書が提出され審査されました。

※ 特定健康診断：平成18年6月に国の健康保険法が改正され、40歳以上75歳未満の全ての被保険者及び扶養者に特定の健康診断が義務付けられました。メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診断の実施などが義務付けられます。

『住んでよかった』そして『住んでみたい』と言われる街に

～～ 宏はこう考える（我孫子駅舎の改修） ～～

我孫子駅舎の改修について、今年3月議会で「本年6月を目途に駅構内エレベータの新設、駅構外通路の拡幅、北口階段の西側からの階段取り付け、西口改札口の新設を含めた全体概略図を、JR東日本東京支社が作成中である」ということでした。

また、今後のスケジュールについても「全体概略図の整備内容やJRとの費用負担の考え方を整理し、議会と協議を行い、了解をいただいた後、具体的な整備の時期や方針を決定し、JRが交通バリアフリー法で予定しているエレベータの設置年度である平成22年に合わせて整備していきたい」との答弁でした。

我孫子駅改修概略図

JR東日本東京支社は作成中であった全体概略図、正式には「我孫子駅自由通路拡幅及び構内バリアフリー検討図」を5月初旬に我孫子市に提出。私たち議員には5月17日の市政懇談会資料として配布されました。内容は「自由通路の拡幅」について3案及び「西口改札新設」について2案の計5案が提示されています。

6月議会で市長は、「今回の改修計画はJRのバリアフリー計画に合わせて自由通路拡幅を行うもので、全面的な改修計画ではない。時間的な制約の中で事業化していくものであるため実現可能な現実的な改修案を提示した」と述べました。

40年に一度のチャンス

駅北口西側地区の日立精機跡地の大型マンション群開発、南口のけやきプラザのオープンと我孫子駅周囲の環境は大きく変化しています。

また、市が現在進めようとしている「手賀沼文化拠点整備構想」の玄関口である我孫子駅は40年に一度の大改修のチャンスを迎えています。将来のまちづくりを考慮に入れた夢のふくらむ駅改修を行わなければならない、失敗は許されない重要な事業だと考えています。

改修にあたっては、市の玄関口である我孫子駅の全体イメージを考えながら整備案をまとめていくべきです。自由通路の拡幅と西側階段の新設を基本としながらも、自由通路デッキ部分の確保と表玄関にふさわしい景観、駅前観光インフォメーションセンターを考慮に入れた駅。限られた財源、工期の制約の中でベストの改修が行われるように全力で努めていきます。

今後の予定

改修スケジュールは平成19年から22年までの4年間で、市民へのパブリックコメントの実施も計画されています。

補助金の活用については、当初都市再生交通拠点整備事業補助金を考えていましたが、平成19年度に制度が見直されて、都市交通システム整備補助金が創設されました。現時点では、この補助金の活用を検討しています。

♪ 是非、ご覧下さい!! ♪

印南が代表を務める

「あびこ21」ホームページ <http://abiko21.exblog.jp/>

我孫子市公式ホームページ <http://city.abiko.chiba.jp/>



⇒ボランティアスタッフを募集しています!

政治に興味がある人、何か行動したくてパワーの余っている人は是非ご連絡を下さい!!

◆◆ 連絡先 ◆◆

布佐平和台7丁目 電話/ファックス: 04-7189-1598

ブログ <http://hiroshi4649.at.webry.info/>

メール innami@mqd.biglobe.ne.jp

千葉柏道路（国道16号バイパス）について

国土交通省では、国道16号の渋滞を解消するため、具体的なバイパスの検討に向けて新たに千葉柏道路検討会を設置（H18/10）した。その後、検討会は平成19年5月31日、新聞折り込みに千葉柏道路の新たな計画のたたき台として「利根川沿いルート」を具体的に検討する案を全戸配布した。現在、計画のたたき台を周知させるためパネル展の開催、HPや広報を使って市民の声を聞くアンケート等を実施している。概略計画の決定(公表)を平成20年3月を目途として計画は進められている。

平成13年から検討が進められていた千葉柏道路協議会が昨年6月に提言を公表。手賀沼を横断するルートから利根川沿いを大きく迂回するルートに変更されたことは一つの成果と我孫子市では考えている。

しかし、利根川沿いのルートでも、東西に細長い我孫子市の長い区間にわたり通過することが予想され、周辺の住環境や利根川、古利根沼などの自然環境への影響、道路交通網の整備や、これまで進めてきたゆうゆう公園の整備事業などさまざまな施策への影響が心配されている。

6月議会 都市建設常任委員会で印南の発言要旨



1. 千葉柏道路の検討状況、市民への周知徹底に努めてほしい。(情報の発信)
2. 利根川沿いルート案になった場合の対策、課題の整理、事前調査を徹底強化せよ。
特に早急に市内に千葉柏道路対策検討委員会を組織化(副市長をヘッドに万全な態勢で行うこと)、市の考え方を整理し、まずは現況をしっかりと把握した上で、問題点を整理すべき。
特にスーパー堤防の構築が、可能か否かも重要な問題だと考える。古利根沼、自然環境、利根川ゆうゆう公園に入るアクセスの安全性確保等、問題が山積している。
3. 経済活性化策につながるバイパス道路とすることが、出来るか否か? バイパスを単に通過道路としないための策をどうするか? 農地との関係や茨城県、取手市(小堀地区)との関係をどうまとめていくのか?
4. 市は国道16号の渋滞改善策も同時並行して事業を進めていくように国土交通省、千葉県に強く働きかけを行うこと。